



本校の実態

【概要】

- 児童数 720名(令和7年4月1日時点)
- 学級数 通常の学級 24学級 特別支援教室(巡回校)
- 都費教員 30名(管理職・休業者等を除く) 平均年齢40.1歳
主幹教諭2名、主任(養護)教諭16名、教諭11名、代替教員1名
- 上記以外の教職員 42名(管理職・休業者、委託派遣者等を除く)
巡回指導教員、都時間講師、区学習指導講師、事務職員、
栄養士、用務主事、会計年度任用職員、有償ボランティア
- 教室数 普通教室24 ピッコロルーム(特別支援教室)1
音楽室1 図工室1 家庭科室1 算数教室1
理科室1 学校図書館1 体育館1
- 令和6年度区学力調査
達成率は全学年で区平均を上回っているが、個人差が大きい。
- 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査
全国平均並みまたは超える学年・性別が半数を超え、改善が見られる。
柔軟性等に課題がある。肥満傾向の児童数はやや減少傾向である。

【令和6年度 四者アンケートの結果】

* ()内は肯定的回答の前年度との差

評価項目	低学年	高学年
1【学校の雰囲気】 学校は楽しい	89.8 (▲3.4)	89.2 (+1.5)
6【心の教育】 思いやりの心をもって生活する	96.6 (+1.7)	94.0 (▲3.5)
7【学習指導】 学校の勉強はわかる	86.1 (▲5.2)	96.6 (+2.2)
9【体育・健康教育】 たくさん運動する・健康に気を付ける	85.1 (▲6.2)	76.7 (▲5.9)
11【学習・生活規律】 落ち着いて生活する	85.8 (▲5.5)	86.6 (▲1.4)

- 保護者(肯定的な評価が区平均を下回っている項目)
15【情報の発信】 82.5 (+5.9)
- 教職員(独自項目の状況)
16【人材育成】 96.7 (▲3.3)
17【働き方改革】 76.7 (▲7.3)

令和7年度の学校経営の重点 40分授業午前5時間制の活用・充実(研究開発学校)

- ①40分授業午前5時間制を効果的に実施する「カリキュラム・マネジメント」の推進(教育の質の向上) ⇔ **自己調整力を高める**
研究開発 *教育効果の検証と教育の質の向上 *「自己調整力」等を高める教育活動の充実 *教員の人材育成・働き方改革等
 ⇒ **教育課程の改善** (「授業時数(各教科等)」+「学校裁量の時間(自己選択学習、マイプラン、なかよし班活動)」+「学校行事」)
- ②豊かな心・規範意識・自尊感情 **教育目標の重点「心ゆたかな子に育てる」**
P「こころ」 【育てたい資質・能力】 ○多様性を尊重する態度、思いやりの心等の「人権感覚」
 ○よりよい生活を主体的に形成する態度、他者と協働する態度、コミュニケーション能力等「人間関係構築力」
 ○メタ認知力、自己調整力、感情や行動を統制する能力(自律性)、規範意識等の「非認知能力」や「判断力」等
 ⇒ **多様な人々とのかかわり** (なかよし班、全校遠足、**小・中学校との交流**、外部人材の活用、担任以外の教職員との学習)
自己調整力を高める教育活動 (「マイプラン(週ごとの個々の学習・生活のめあてや計画の作成・評価・調整)」、「キャリア・パスポート」)
- ③体力向上 ⇒ **体育の充実(調査結果を踏まえた授業研究の推進)**、「マイスクールスポーツ(全体で共通に取り組む体育的活動)」の推進、
P「からだ」 朝やロング昼休みの時間等の遊びの推奨、**アスリートを招聘した体験教室**、「めぐろここカラダシート」の活用
- ④授業改善 ⇒ 校内研究(体育科を核に「体力」と「自己調整力」を高める授業研究)、「自己選択学習」等の個別最適な学び(学習の個性化)の推進
P「まなび」 習熟度別指導・TT指導等の効果的な指導体制、一部教科担任制(高学年)・交換授業、専科教員(音、図、家、英、算)

学校経営方針

経営理念
めざす学校像

チーム「大岡山小」で子どもたちの夢の土台づくりを

「人のかかわりの中で子どもたちの可能性を伸ばす『楽しさ』あふれる学校」

- 子どもが通うことを楽しみにできる学校 ●家庭や地域から信頼される学校 ●教職員同士が学び合い、働きがいのある学校

教育目標
【育てたい資質・能力】

人間尊重の精神を基盤として、心身ともに健康で人間性豊かな児童の育成をめざし、次の教育目標を置く。

- ◎心ゆたかな子に育てる ○考える子に育てる ○がんばる子に育てる ○しょうぶな子に育てる
- 【人権感覚】【人間関係構築力】 【自ら考え表現する力】 【物事を成し遂げる力】 【自他の生命尊重の精神】
- 【自己調整力】【メタ認知力】等 【情報活用能力】等 【学びに向かう力】等 【体力】【スポーツ志向】等

- 1 「確かな学力」の向上
①「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善(個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実)
②40分授業午前5時間制による「自己調整力」の向上(研究開発学校としての研究、自己選択学習等)
③ICTを効果的に活用した教育の質の向上(ロイノート、ドリルパーク、大型提示装置の活用等)
④特別支援教育の充実(校内委員会、個別指導計画、授業のユニバーサルデザイン化)
- 2 「豊かな心」の育成(重点)
①児童の要場所となる学校・学級づくり(自尊感情、I-check、キャリア・パスポート)
②多様な人々との交流活動(体験的な学習、なかよし班活動、全校遠足、外部人材活用)
③規範意識・自律性の向上(大岡山スタンダード、ルールの見直し、マイプラン(めあて・振り返り))
④道徳的価値の自覚を深める道徳教育の推進(「考え、議論する」道徳、道徳授業地区公開講座)
- 3 「健やかな体」の育成
①体力向上のための取組の充実(体育の授業研究、マイスクールスポーツ、ロング昼休み、学校2020レガシー)
②安全教育の推進(安全指導、セーフティ教室)
③健康な生活習慣の維持・増進(学校保健委員会、めぐろここカラダシート姿勢や体幹に関わる指導)
④状況に応じた感染症・熱中症対策
- 4 学校力・教師力の向上 ***主な働き方改革関連の取組：二重線部**
①学年組織を活用した対応力向上(一部教科担任制・交換授業、合同授業、副担任制(エデュケーション・アシスタント等)、合同学年会、OJTの会、校内研究会)
②組織的・計画的・効率的な学校運営(主幹教諭の権限に基づきスピーディな改善、デジタル化、会議の縮減・効率化、人的支援の効果的活用(SSS、副校長補佐、講師、支援員等))
③ワークライフバランスの推進(勤怠管理S、教育活動停止日、留守電・連絡帳)
④生み出した時間の活用(教材研究やケース会議等の教師力向上の時間確保)
- 5 保護者・地域と響き合う学校づくり(情報発信の工夫)
①情報発信と学校評価を活かした学校経営の充実(学校だよりの情報一元化、教育活動の公開、HP学年ページの充実、評価結果・報告のHPによる公表)
②家庭との連携による教育効果の向上(スピーディで正確な情報の共有、3回の個人面談の充実、電話・Home&School(連絡帳)による個別な情報共有)
③地域人材を活用した教育活動の充実(地域人材を活用した学習、周年準備1年生と東西住区との地域交流会、地域教育懇談会、地域行事への参加)
④学校段階間の連携強化(小中連携・児童生徒交流、就学前教育との円滑な接続)

自尊感情
豊かな心
授業改善
体力向上
規範意識
情報発信
働き方改革

令和7年度 目黒区立大岡山小学校 学校グランドデザイン

各調査による本校の実態

【学校の実態】

- 児童数 720名(令和7年4月1日時点)
- 学級数 通常の学級 24学級
特別支援教室(巡回校)
- 教員 30名(管理職・講師・休業者等を除く)
主幹教諭2名、主任(養護)教諭16名
教諭11名、代替教員1名
- 都正規教員以外のスタッフ 42名
都講師、区講師、事務職員、栄養士、
用務主事、会計年度任用職員等

【児童の実態】区平均との比較

- (1) 区学力調査: 達成率は全学年で区平均を上回っているが、個人差が大きい。
- (2) 四者評価: 「学校は楽しい」との回答が90%程である/「授業が分かる」との回答が90%以上である
- (3) 体力調査: 前年度よりは体力調査の結果は改善が見られる。柔軟性等に課題がある。肥満傾向の児童数はやや減少傾向である。
- (4) 進路: 毎年度、国立、私立、都立中学校に進学する児童が多い。

【保護者・地域の実態】

- (1) 四者評価結果
・「学校の教育活動に満足している」との回答が90%程である。
・教育に関心が高い保護者が多い。
- (2) PTAや地域の特色
・PTAポイント制による公平性の担保
・協力的な住区・町会

校長の経営方針

チーム「大岡山小」で子どもたちの夢の土台づくりを

■基本方針

- ・40分授業午前5時間制を効果的に実施する「カリキュラム・マネジメント」の推進
- ・確かな学力の向上(自己調整力の向上等)
- ・豊かな心の育成(多様な人々との交流活動等)
- ・健やかな体の育成(体育の授業研究、マイスクールスポーツ、ロング昼休み等)

■40分授業午前5時間制のビジョン

- ・個別最適な学び、協働的な学びの推進
- ・自己選択学習の活用
- ・マイプランの作成・振り返りの時間の活用

目指す学校像・児童像

人とのかかわりの中で 子どもたちの可能性を伸ばす
『楽しさ』あふれる学校

- 子どもが通うことを楽しみにできる学校
- 家庭や地域から信頼される学校
- 教職員同士が学び合い、働きがいのある学校

【学校教育目標】

- ◎心ゆたかな子
【人権感覚】【人間関係構築力】【非認知能力】【自己調整力】等
- 考える子
【自ら考え表現する力】【自ら考え表現する力】【情報活用能力】等
- がんばる子
【物事を成し遂げる力】【学びに向かう力】等
- じょうぶな子
【自他の生命尊重の精神】【体力】【スポーツ志向】等

40分授業午前5時間制を生かすカリキュラム・マネジメント ～自己調整力を高めるために～

学校裁量の時間を活用して

☑「自己選択学習」の時間

毎週月・火(20分)

- ・自己調整力を高めるために、特定の教科に絞ることなく、児童・生徒一人ひとりが興味・関心のあることを追究する時間
- ・2つの学習スタイル(自学・自習タイム/フリースタイルタイム)

☑マイプラン

毎週金(20分)

- ・1週間の生活を見通したあての設定、振り返り・調整を行う活動
- ・週ごとの指導計画と連動したエクセルシートを活用
- ・発達段階に応じてあて/振り返りの仕方を柔軟に変更

☑縦割り班遊び

月1回(40分)

- ・児童に集団の中でルールと役割を自覚させ、社会性をはぐくむ
- ・6年生が中心となって、全学年の児童が参加する縦割り班での遊びを実施する。

☑ロング昼休み

毎週月(25分)

- ・季節に合わせて様々な運動・遊びを紹介(鬼ごっこ・ダンス・短/長縄等)
- ・読書タイムの設定(7月、熱中症アラートが出ている日等)

自学・自習タイム

自学自習タイム
～必要な学習を教科の中から選んで行う学習～

自分の学びたい教科や学習内容を自分で決めて学習する。教科書や教材を手に取り、自分のペースで学習を進め、わからないところは先生や友達に質問する。

学習スタイル	学習内容	必要なもの
個別学習	教科書、ワークシート、辞書	学習指導要領、学習の進捗、ワークシート、辞書
グループ学習	教科書、ワークシート、辞書	学習指導要領、学習の進捗、ワークシート、辞書
探究学習	教科書、ワークシート、辞書	学習指導要領、学習の進捗、ワークシート、辞書
読書タイム	教科書、ワークシート、辞書	学習指導要領、学習の進捗、ワークシート、辞書

フリースタイルタイム

フリースタイルタイム
～教科の枠を外して、自分で学びを追求する学習～

自分の興味・関心に応じて、自由に学習内容を設定して、課題解決を行う。自分の学びたい教科や学習内容を自分で決めて学習する。教科書や教材を手に取り、自分のペースで学習を進め、わからないところは先生や友達に質問する。

学習スタイル	学習内容	必要なもの
探究学習	教科書、ワークシート、辞書	学習指導要領、学習の進捗、ワークシート、辞書
読書タイム	教科書、ワークシート、辞書	学習指導要領、学習の進捗、ワークシート、辞書
個別学習	教科書、ワークシート、辞書	学習指導要領、学習の進捗、ワークシート、辞書
グループ学習	教科書、ワークシート、辞書	学習指導要領、学習の進捗、ワークシート、辞書

児童

生み出した時間の活用

	【通常時程】					【4時間時程】	
	月	火	水	木	金	準備	1校時
8:00			準備(朝遊び)			準備	
8:20	全校朝礼	学級の時間	学級の時間	学級の時間	学級の時間	学級の時間	
8:30	1校時					1校時	
9:10							
9:15	2校時					2校時	
9:55							
10:00	3校時					3校時	
10:40	中休み					中休み	
10:55							
11:00	4校時					4校時	
11:40							
11:45	5校時					自己選択学習	
12:25	給食					給食	
13:10	ロング昼休み	掃除	備の去	大岡山タイム15:15 午後遊戯 なかよし遊戯 (前13:50まで)	掃除		
13:35	自己選択学習	自己選択学習	諸会議 研修① 13:40～14:30	屋休み	マイプラン		
13:55	6校時	6校時 クラブ活動 委員会活動 (14:00～14:50)	諸会議 研修② 13:40～14:30	6校時	6校時		
14:35	備の去	備の去	諸会議 研修③ 15:00～15:30	備の去	備の去		
14:45	最終下校	最終下校	学年会	最終下校	最終下校		
14:50	校内研 or 教材研究	合同学年会 PT(学休日) 行事委員会 ※月1回	学年会	教材研究			
15:30							
16:15							

振り返り
計画
自己調整力の育成
実行

各学年の時数内訳

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
標準授業時数	865	925	980	1015	1015	1015
学校裁量	98	80	79	70	64	65
行事時数	58	56	56	53	64	67

授業改善

体育→各教科へ

- 個別最適な学びの推進
・指導の個別化
・学習の個性化
- 協働的な学びの推進
・基盤となる表現力の育成
場の工夫、各教科の特質に応じた体験活動の重視



課題解決の中で自らの学びを調整する子の育成
～明確な学びのサイクルを通して、運動の特性を味わえる体育の学習

校内研究(体育科)年間6回の研究授業

なるほど! マイプラン活用術

マイプラン活用術

自分の学びたい教科や学習内容を自分で決めて学習する。教科書や教材を手に取り、自分のペースで学習を進め、わからないところは先生や友達に質問する。

マイプラン

教師

☑新たな組織編制

- ・PTまび: 「自己選択学習」「マイプラン」の開発・改善
- ・PTころ: 縦割り班活動、道徳教育、読書活動等の推進
- ・PTからだ: マイスクールスポーツ、アスリートを招聘した体験教室の推進

☑会議の精選

- ・水曜日の午後に諸会議を集中
会議の進め方のルールを徹底し、効率化を図る。
職員会議は2カ月に1回、1カ月は運営委員より各学年・専科へ伝達する。

☑教材研究の時間の確保

- ・6校時の終了時刻14:35→放課後の時間の有効活用
- ・月・金は会議を入れずに教材研究の時間を確保
- ・OJTの会や合同学年会で各教科の実践の共有

「自己選択学習」の時間

チーム大岡山として